

## 平成 30 年度第 1 回千葉市図書館協議会議事録

1 日 時 平成 30 年 6 月 29 日(金) 10 時 00 分～11 時 15 分

2 場 所 千葉市消費生活センター3階 研修講義室

### 3 出席者

#### (1) 委員

齊藤誠一 委員長・庄司三千子 副委員長・亀山恵美子 委員・  
吉野精一郎 委員・伊藤久恵 委員・鎌田貴美枝 委員・早川礎子 委員・  
佐々木雅美 委員・十倉典子 委員

#### (2) 事務局

小林中央図書館長・高石みやこ図書館長・南雲花見川図書館長・  
石井稲毛図書館長・須田若葉図書館長・深山緑図書館長・中田美浜図書館長・  
作田中央図書館管理課長・太田中央図書館情報資料課長・  
平岡中央図書館管理課担当課長・山下中央図書館管理課長補佐

#### (3) 傍聴人

9 人

### 4 議 事

(1) 平成 29 年度千葉市図書館の評価について（評価実施:H30、評価対象:H29）

### 5 議事の概要

(1) 平成 29 年度千葉市図書館の評価について

- ア 取組結果及び内部評価について〔事務局説明〕
- イ 外部評価について〔評価部会長(委員長)より報告〕
- ウ ア・イについての質疑応答・協議

→概ね原案どおりとし、協議会で出た意見等による外部評価案の修正については  
委員長に一任された。

### 6 会議経過

#### <開 会>

- 中央図書館館長あいさつ
- 定足数の確認(図書館協議会委員 9 名の出席をもって成立)
- 会議の公開についての説明
- 委員長あいさつ

#### <議 事>

(1) 平成 29 年度千葉市図書館の評価について

齊藤委員長 それでは、次第に沿って進めていきます。議事(1)平成 29 年度千葉市図書館の評価について、内部評価と外部評価がありますが、内部評価については事務局から、外部評価については外部評価部会長の私から、説明させていただきます。

まずは、事務局から内部評価の説明をお願いします。

作田管理課長 まず、今回の平成 29 年度千葉市図書館の評価案の作成経過から説明さ

せていただきます。

今年度の4月から5月にかけて、平成29年度の運営実績を基に、千葉市図書館の取組結果をまとめる作業を行い、この実績をもって内部評価を作成しました。その後、6月12日に千葉市中央図書館において外部評価部会を開催し、3名の部会員様のご協力により、取組結果と内部評価、及び外部評価の案を作成しました。事務局からは、取組結果と内部評価の概要について、ご説明します。

お手元の「資料1」表紙をご覧ください。

二重線の枠内のA・B・Cの3段階評価については、例年と同様に、ここに記載したとおり、計画どおりに実施できたものをA、概ね計画通り実施できたものはB、計画通りに実施できなかったものはC、というように定義どおりの評価としています。特にB評価の場合は、曖昧さを排除するため、極力、取組結果欄にその課題が明確になるような記載に留意しています。

次に、「取組項目」につきましては、昨年度の図書館協議会でご審議いただきました「平成29年度千葉市図書館のサービス取組項目及び評価指標」を用いています。

また、昨年度外部評価における、各項目でのご指摘事項に対する取組等を記載しています。取組結果中、色付表示セルが該当箇所となります。

取組結果の文章冒頭の記号についてご説明します。○(白丸)は、項目を計画どおり実施した内容です。△(三角)は、項目の実施にあたり課題がある内容です。

今年度も継続して、各項目での関連する統計データの参照箇所をお示しています。

最後に、評価の内容についてですが、項目数が66にも及んでおり、お時間が限られておりますことから、個別の項目についてのご説明は控えさせていただきます。

なお、外部評価部会でいただいたご意見につきましても、一部、修正しきれない箇所があります。本日の協議会における意見と併せ、この後に修正させていただきたいと思っております。

事務局からのご説明は、以上です。

齊藤委員長 ありがとうございます。

ただ今のご説明について、何かご意見はありますか。

ないようでしたら続きまして、私から6月12日に作成した外部評価案についてご説明します。その後にご意見等ありましたら、併せてお願いいたします。

外部評価案は、外部評価部会会員である鎌田委員、十倉委員と私の3名で作成しました。事務局からもお話がありましたが、項目が66もあります。すべてを説明するわけにはいきませんので、この場では外部評価と内部評価を比較して、A・B・Cの3段階評価に違いがあった項目と、外部評価においてC評価がついた3箇所の項目について、ご説明したいと思います。

全体的に、千葉市図書館は大変良いサービスをしていると思っております。図書館職員の方々は、時間、予算の無い中、大変な努力をされていることが、大変よく分か

りました。

その中でも、もっと良いサービスをしていただきたいという思いで評価している項目もありますので、一言お断りさせていただきたいと思います。

まずは、3 ページ番号 8、「公民館図書室のサービス向上のため、選書、レファレンス、研修等の支援を行います。」についてです。この項目は、毎年度挙がっている項目でもあります。やはり、市民に一番身近なところにある公民館図書室に、是非力を入れていただきたい、という思いをずっと持っています。図書館でも努力しているとは思いますが、是非今後も力を入れていただきたいという思いを込めて C 評価としています。

公民館には、指定管理者制度が導入されています。その流れの中で、しっかりとサービスが提供できるようなバックアップを図書館にさせていただきたいと思います。その点を踏まえ C 評価としています。

4 ページ番号 9、「図書、雑誌、新聞に代表される印刷媒体の資料だけでなく、(仮称)瑞穂情報図書センターにタブレット端末を導入するなど、インターネット等による電子媒体を組み合わせた情報提供を推進します。」についてです。

みずほハスの花図書館では実験的な試みが行われています。タブレット端末やデジタルサイネージを導入するなど、様々な試みが行われていますが、それらが使えるか、使えないかをしっかりと検証、精査をしていただきたいと思います。

それと、Wi-Fi 環境については、まだまだ整備がなされていない部分がありますので、早急に対処していただきたいという思いも込めて B 評価にしています。是非、もっと進めていただきたいと思います。

4 ページ番号 10、有料データベースについてです。もちろん、使えないデータベースもあるにはあるのですが、有効なデータベースもあります。有効なデータベースは取り入れていただきたいという思いを込めて C 評価としています。

6 ページ番号 14、図書館資料の検索講座についてです。これに関しても、いろいろな取組をされていると思います。前年度よりも良い状況になっていると思いますが、是非、全館の取組に広げていただきたいと思います。また、学生や生徒に対する講座をもっと実施しても良いと思いますので B 評価としています。

6 ページ番号 15、レファレンス技術の向上についてです。研修会が行われていますが、いずれにしても参加者がそれ程多くないと思います。課題解決支援の必要性が図書館界で叫ばれている中で、レファレンスの技術・知識の習得は、不可欠となっていますので、もう少し力をいれていただきたい、という思いで B 評価としています。

16 ページ番号 35 についてです。千葉市図書館は、昔から子どもに対するサービスに力を入れ、良いサービスを展開していると思います。しかし市域が広いということは重々承知していますが、学校との関係を密にして、市内の子ども全員が市図書館を利用できるような啓発体制を目指していただきたい、という思いを込めて B 評価にしています。

17 ページ、子どもと学校の関係についてです。先ほどお話ししたとおり、大変市域が広いですし、小・中学校数も多いので、大変だとは思いますが、子どもの読書活動の推進において、学校との連携は非常に重要だと思います。

17 ページ番号 38、39、40 については、学校との連携に関する項目です。やはりいまだすべての学校への対応という点については、できていないのではないかと思いますので、もう少し努力をお願いしたいということで B 評価にしています。

番号 38 についてですが、平成 29 年度の図書館見学は 49 校ということですが、まだまだ小学校はありますので、是非進めていただきたいと思います。

番号 39、団体貸出についてですが、団体貸出数も少し減っていますので、もう少し力を入れていただきたいと思います。

番号 40、学校図書館指導員との関係についてです。やはり学校図書室を運営していただいている学校図書館指導員の方との連携をより密にする取組を、もう少し行くと良いと思います。教育指導課のお仕事になるとは思いますが、もう少しバックアップという形で、図書館も関わっていただきたいと思います。

21 ページ番号 50、「職員の資料に関する知識を深めるとともに幅広い資料を利用者に提供するため、他の図書館との協力による共同研修や共同事業を実施します。」についてです。毎回、文化庁との著作権セミナーが挙げられますが、これ以外にも、関係団体と調整しながら研修会等ができないのか、そういうことを模索していただきたいということで B 評価にしています。

その前の番号 49 では千葉市図書館情報ネットワーク協議会との連携による研修会などを挙げていますので、協働事業を実施していないということはないのですが、この番号 50 では、著作権セミナーだけが挙げられています。もう少し、他の研修会などのメニューを考えていただければということで B 評価としています。

22 ページ番号 52、「高等学校や大学、教育センター等教育機関との連携を図り、高校生、大学生、教員の図書館利用促進と、相互の資料活用について検討します。」についてです。学校図書館研究協議会との関係をつくり、図書館利用について促進を図ったということです。これに関しても、大変お忙しいのは承知しているのですが、更に教職員の方々、学校図書館との連携を強めていただきたいという思いを込めて B 評価としています。

25 ページ番号 62 についてです。これは内部評価も外部評価も C 評価です。中央図書館見学ツアーの実施が計画されていましたが、実施に至らなかったということです。中央図書館見学ツアーは、是非やっていただきたいと思います。実は、私の大学の学生も中央図書館の見学に参加させていただき、内部を見させていただいています。おはなし会の部屋や、児童のコーナーで紙芝居が実際にできること、そして特に自動出納書庫は、コンテナが中で動いて自動で本を出す様子を実際に見られるということが、大変インパクトがあります。

また、中央図書館ではハンディキャップサービスということで、点字図書や録音図書についても、しっかりと書架に出して見られるようになっており、学生たちには非常

にインパクトを与えています。こういうサービスをやっているということが目からウロコのようにです。

そういう意味では、地下のバックヤードを含めて、多くの市民の方に中央図書館見学ツアーを行っていただくと良いと思います。中央図書館見学ツアーは有効であり、是非やっていただきたいと思いますのでC評価としています。

26 ページ番号 66、「図書館サービスをはじめ、行政分野や地域の課題にも精通し、高度で的確なサービスを提供できる専門職員の確保と育成に努めます。」についてです。努力いただいているとは思いますが、やはり有司書資格者の割合が、なかなか増えていないという状況です。特に気になるのが、今は職員が世代交代の時期です。図書館のノウハウをしっかり持っている職員、専門職の方等が辞められていくという状況が、他の図書館でも多くなっています。千葉市も同様だと思いますので、若い人たちは是非育てていただきたい。そして、司書資格を持った職員を入れて、長い目で職員を育てていくことを、是非進めていただきたいという思いでC評価としています。

全体としては、大変良い図書館サービスを実施いただいていると思います。何年も図書館評価を続けている中での成果もあるとは思いますが、それでもまだ課題は残っています。最初に申し上げましたが、こういう外部評価を受けているということで、上層部の説得をしていただき、より良いサービスにつなげていただきたいと思いません。

この評価はまだ決定ではなく、これからの協議で揉んで、その上で最終決定となります。先ほどの事務局から説明のあった内部評価、それから私から説明しました外部評価について、何かご質問があれば受けたいと思います。いかがでしょうか。

よろしければ、外部評価を担当された、十倉委員・鎌田委員からお話をいただければと思います。

十倉委員 この度の、外部評価案の作成を担当させていただきました。委員長、図書館の方も申されたとおり、取組項目数が多いので、事前に案を出し、コメントを考えることは非常に大変でした。しかし、図書館の方もしっかりとお仕事をされていることが分かりました。分からないことにつきましては、外部評価部会の中で確認し、評価のコメントを固めました。

大変ではありますが、これは必要な作業だと思います。是非、この結果を今後の図書館サービスに活かしていただきたいと思います。

鎌田委員 私も同様に、暫定版の統計書「千葉市の図書館」や、前年度の図書館評価等を確認し、どのように変化してきたのかを確認しながら、今年度の評価をさせていただきました。

いつも改善が見られないところはどうなっているかを確認しますと、大抵は図書館職員の方々は努力されているのに、その上の方針の部分でなかなか難しいところがあるから取組が進んでいないことが分かり、仕方なくC評価・B評価とさせていただいた項目もあります。

個別には改めてもっとお話しを伺いたいところもありましたので、協議の程よろしく  
お願いします。

齊藤委員長 ありがとうございます。

事務局の作田管理課長からのお話しにもありましたが、細かい文言につきましては  
修正が出るかもしれないものの、概ねこの内容で決定させていただきたいと思  
います。他にはよろしいでしょうか。

今後は、事務局の方で取りまとめいただき、改めて委員の皆さまにお示するよう  
にいたします。

議事としては、これで終了となりますが、他に何かありますでしょうか。

十倉委員 外部評価をしながら考えていたことについて、いくつか意見や質問をさせていた  
だければと思います。

1 ページ番号 2、移動図書館についてです。移動図書館は、必要なサービスだと思  
います。貸出冊数が増えている拠点、減っている拠点、あるとは思いますが、貸  
出冊数が減っている拠点は原因を分析して対策となっていますので、検討して  
いただきたいと思います。

そこで質問と意見ですが、ステーションマスターの方々が各ステーションにいらっ  
しゃいますが、この方々に積極的に働きかけることで、より良いサービスを期待でき  
ると思います。ステーションマスターの方々には、研修を受ける機会があるのか伺  
います。

それから意見として、巡回しているステーション以外に、近くに図書館がない学校  
にも出向いていただきたい。もちろん頻繁に行くことができないのであれば、1 年に数  
回でもよいので、出向いていただきたいと思います。

その際、団体貸出を学校でも利用されていると思うのですが、なかなか学校側も  
中央図書館まで来てサービスを受けるということは難しいと思いますので、移動図  
書館と一緒に載せて、届けていただくというサービスができないものかと思ってい  
ます。

これは移動図書館を利用している方からですが、子どもが下校した後の時間帯  
に移動図書館に来てもらいたいという意見を聞いています。今は、何曜日の午前中  
など、決まった時間帯に来るようになっています。決めないとなかなか難しいこと  
多いかとは思いますが、少し時間をずらすなどして、子どもが、下校してから移動  
図書館の本が借りられるようなサービス体制ができると良いと思います。

それ以外のところについても、続けて申し上げます。

1 ページ番号 1 についてです。選書に関する外部評価の記載に「良質な図書の  
選定」とあります。自分達で出した案ですが、この「良質な」という言葉が気になり  
ます。何か他の言葉で、例えば「公平な」とか、必ずしも良いものだけを揃えるとい  
った印象がない方が良いのではないかと思います。

2 ページ番号 3、「資料費を有効に活用するため、図書資料の計画的な充実」に  
ついてです。細かい話になりますが、先日、地区図書館に行き、おはなし会で使用

するため、中国の方が書いた日本語の絵本を借りようと思っていたのですが、1冊も見当たりませんでした。その図書館のある地域は、中国出身の方が多く住んでいる地域ですが、その方々に向けた本がなかったということです。そういった各種利用者の事情等も配慮し、資料を揃えていただきたいと思います。

2 ページ番号 5、外部評価コメントに「返却時の点検」とあります。

現在、みずほハスの花図書館は窓口業務委託をしていますが、他の市内図書館と違い、返却の際の資料の確認が丁寧といえば丁寧なのですが、全部のページを細かく見て確認されていますので、非常に時間がかかります。それが、後の人が待っている状態でも同じで、いつもじっくりと確認され、大変待たされています。

そういう状況ですので、例えば自分が 10 冊返しに行く場合は、時間がかかってしまうと考えてしまい、みずほハスの花図書館では返却せず、他の拠点に返却することもあります。もう少し、臨機応変に対応していただけないものかと思います。

他にもいろいろと細かい点はありますが、別の機会にさせていただきたいと思えます。

齊藤委員長 評価について、内容の変更については、番号 1 の「良質な」という文言のみでしょうか。他にも、評価の内容についてご意見があれば、一度出していただきたいと思います。

十倉委員 他はありません。

齊藤委員長 よろしいでしょうか。それでは質問いただいた項目で、ステーションマスターへの研修についてですが、こちらは実際に行われているのでしょうか。

太田情報資料課長 ステーションマスターの方々への研修は、特に行っていません。

齊藤委員長 私も含め、委員の方々もよく分かっていないと思うのですが、ステーションマスターの方々が行われているお仕事について、少しご説明していただけないでしょうか。

山下情報資料課長補佐 職員は、移動図書館車で各ステーションに向いますが、ステーションマスターの方々は、直接ステーションに集まっています。

ステーションで本の貸出などを行う際、机を出すなど、ステーションの設営をしますが、その準備のお手伝いをいただいています。また、貸出や返却の補助についても、お願いをしています。

それと、地元の方をお願いしていますので、顔見知りなど、地元の方々との対応をお願いすることも多くあります。

齊藤委員長 ありがとうございます。具体的に何かをやってもらっているということではなく、職員の手助けをいただいている、ということです。

評価の修正については、よろしいでしょうか。もし、細かい文言の修正がある場合は、改めて言っていただければ、チェックしたいと思います。最終的な取りまとめについては、私に一任いただければと思います。

あと、先ほど話がありました返却本の点検についてのご意見です。ブックポストに返却する場合は、本を入れるだけですが、カウンターに返却した場合は、返却され

た本の中をすべて確認しているということでしょうか。

山下情報資料課長補佐　みずほハスの花図書館に限らず、すべての館において、ブックポストに返却された本は、そこで返却が完了したわけではなく、職員が改めてすべての本の中を確認した上で返却完了としています。

齊藤委員長　ここでの話は、時間の問題だと思います。カウンターで返却すると、待たされてしまうという点です。本の中をすべて確認することが良いのか、悪いのかということもありますが、少し内部で調整していただければよろしいでしょうか。

小林中央図書館長　少し戻りまして、先ほどいただいた意見について、少しばかりお話をさせていただきますと思います。

まず、移動図書館について、巡回していない場所に、年数回でも巡回して欲しいというお話をいただきました。それは、単に貸出ではなく、図書館には様々なサービスがあるというPRという意味合いもあると思います。

移動図書館車は1台しかありませんので、それ程余力があるわけではありません。ただ、実現するかどうかは分かりませんが、区民まつりなどのイベントがある時に移動図書館車を出し、移動図書館のPRを行うといったことも良いと考えています。他にも、ショッピングセンターの駐車場の片隅をお借りし、同様のことができると思います。

それと、移動図書館車で団体貸出の資料が運べないか、というお話しですが、我々も、巡回のついでに団体貸出資料も一緒に運べば、わざわざ先生方が中央図書館まで車で取りに来ていただく必要がなくなると考えます。

ですが、移動図書館車内は、巡回時に使われる資料等で満杯状態です。それに団体貸出資料を加えて運ぶとなると、積載オーバーといった懸念も出てきてしまいます。アイデアとしてはあるのですが、実施までには課題もあるという状態です。

また、子どもの下校後の時間に合わせた、移動図書館車の訪問についてですが、いかんせん1台しかない移動図書館車の訪問時間を柔軟に対応することは、非常に難しい状態です。資源の有効活用という点からも、特定の日時等に合わせたサービスの展開は、1台の車をフルに活用することと反する部分もありますので、融通が効きづらいという点は、出てしまうと思われます。

しかし、そういうニーズがあることは分かります。そもそも、図書館に来られない方が移動図書館を利用されるわけで、それらの方々の事情につきましては、しっかり認識していく必要があると考えています。

齊藤委員長　ありがとうございます。子ども読書まつりでも、移動図書館車が出てくると大変人気があります。ああいう形で、どこかに出向いてサービスするという事は面白いと思います。他にいかがでしょうか。

鎌田委員　10ページ番号24、図書館ホームページについてです。評価には記載がないのですが、地区図書館の情報発信が非常に少ないという気がします。古い情報も、そのままになっているケースも多いように感じます。その点について、どのようにお考えでしょうか。

齊藤委員長 事務局からよろしいでしょうか。

小林中央図書館長 実際には、特段、地区図書館からの情報をもっと発信してほしい、発信が足りない、あるいは地区図書館に行って初めてイベントを知った、というご意見をいただく機会はあまりありません。ご指摘いただき、利用者からはそのように見られてしまっているのかと認識させられました。

鎌田委員 古い情報が残っている、更新されていないという点については、図書館としてはあまり大したことではないという認識なのでしょうか。

小林中央図書館長 新しい情報が入ってきて、古い情報がどんどん画面下方などにずれていきますが、かなり古い情報もそのまま残っているということはあります。

ただ、終了済みのイベント情報でも、そのまま消してしまうよりは、今年は行きそくなったけれど、来年はこの時期にチェックして行ってみようなどと、利用されるケースもあります。当然、新しい情報の方が大事ですが、古い情報を残しておくことも悪くはないと思います。

鎌田委員 もう一つ、地区図書館で独自にホームページを作り、発信していくことはしないのでしょうか。

小林中央図書館長 ホームページという形では難しいと思います。図書館ホームページそのものが、我々独自に構築しているものではなく、図書館システムを構築している事業者で併せて管理しています。

図書館ホームページにリンクを貼っていますが、比較的、自由に情報発信できるものとして、中央図書館の facebook を用意し発信しています。なかなか頻繁に更新しきれないという点もあり、胸を張りきれない点ではありますが、facebook で図書館からの柔軟な情報発信も行っています。

齊藤委員長 よろしいでしょうか。ホームページは、頻繁に情報が更新されることで新鮮な情報が得られる、ということが売りになっていると思います。掲載情報は、適宜チェックをかけていただきたいと思います。他に何かありますでしょうか。

それでは、再度になりますが、細かい文言修正等がありましたら、個別に伝えていただき、私の方で判断して修正します。私に一任いただきたいと思います。修正した結果については、改めて皆様にお示しさせていただき、平成 29 年度の評価を確定したいと思います。

議事に関しては終了しました。それでは事務局にお返ししたいと思います。事務局から、何かありますか。

小林中央図書館長 少しお時間をいただき、ご紹介させていただきます。

本協議会におきましては、委員の皆様は 2 年間の任期で、今回が任期最後の協議会です。これまで、千葉市図書館に対し貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。

今回の任期をもちまして、齊藤委員長がご退任となります。齊藤委員長におかれましては、平成 18 年度以来 12 年間図書館協議会委員として、特に平成 22 年度以来 8 年間は委員長として、千葉市図書館の発展に尽力をいただいたところです。

本来であれば、これからも続けていただきたいところですが、本市の附属機関に関する指針で、基本的には 10 年を超える再任ができないため、本協議会をもって退任となります。

長年にわたる御功績と御功労に対し、改めて心より感謝の意を表す次第です。

併せて、早川委員、鎌田委員も本日が最後となります。つきましては、齊藤委員長並びに両委員より、一言ずつごあいさつを頂戴したいと存じます。

《早川委員、鎌田委員、齊藤委員長あいさつ》

小林中央図書館長 齊藤委員長並びに委員の皆様、本当にありがとうございました。引き続き齊藤委員長には図書館情報ネットワーク協議会の会長は続けていただく予定で、千葉市図書館との関係は継続して参ります。

事務局進行 以上を持ちまして、平成 30 年度第 1 回図書館協議会を閉会します。

なお、議事録につきましては、事務局にて議事録案を作成し、委員長のご承認をいただいたうえで確定とさせていただきます。

本日は、長時間にわたり慎重なご審議をいただき、誠にありがとうございました。

<閉会>

【問い合わせ】

千葉市教育委員会事務局

生涯学習部中央図書館管理課

TEL 043-287-4081